

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:平成30年12月1日

事業所名: ひらり三島ルーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3		4	・利用人数が多い日には狭く感じるため、低学年と高学年の場所を分けて遊ぶ場所を確保している。	8	4		3	日頃送迎を希望しており活動を見る機会がない	祝日をなどを利用し親子参観のようなものを計画するよう今後検討していく。
	2 職員の適切な配置	6	1			6		1	8	職員増や移動お知らせがありました。1日職員何名かは知りません。専門性はわかりません。	ホームページ内でお知らせしていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	6	1			12	1		2	我が子は話をしないので情報がありません	対応できるようにしていきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7				13	1		1	いつもお部屋はきれいで気持ちいいです。	今後も継続するよう努めていきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5	2								申し送りの時間を午後に変更し職員全員がより周知徹底できるように努めていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	5	2								家族同士が話し合いの場を持つ空間を提供できるよう今後検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7			月1回程度の研修会を行っている。						外部研修や、内部研修を通じて職員のスキルアップをしている。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7				12			3		分かりやすい説明ができるように努めていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7				12	1		2		分かりやすい説明ができるように努めます

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成									今後も維持できるようにしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7							どの様なプログラムで活動しているかわかりません。	個別支援計画等の説明時に分かりやすい説明を用いて「ひらり」の1日の流れと全体での流れの説明をしていきます。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	6	1							今後もっとできるように努めます。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7							6	9	今後もっとできるように努めます。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	5	2								外出マニュアル等を作成し安全に過ごせるよう努めています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	5	2								主に申し送り時に話し合いをします。その他業務日誌に記入し伝達しています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	1								主に申し送り時に話し合いをします。その他業務日誌に記入し伝達しています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	5	2								カルテに書かれていることを申し送りなどで話し合える体制を作っていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	5	2								支援計画は自分の担当分は最低でも把握していく。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画										現在も行えているため継続していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
との連携	2										現在利用児童がいないため利用の際には適宜対応できるようにしていきます。	
関係機関との連携（続き）	3										現在利用児童がいないため利用の際には適宜対応できるようにしていきます。	
	4	1	5	1							保育所訪問などで授業参加の機会を考えていきます。	
	5		7								現在もできているため継続していきます。	
	6		7								必要な研修があれば参加できているため、今後も継続し参加していきます。	
	7			1	6	今後このような活動の機会が出来ればいいと思う。（ひらりのイベントに招待するなど）	1		2	12		イベントの開催の仕方を考え、交流の仕方を考えていきます。
	8		1	1	5	今後このような活動の機会が出来ればいいと思う。（長期休暇や、祝日などに機会を作る）						イベントの開催の仕方を考え、交流の仕方を考えていきます。
	保護者へ	1		5	2							専門用語をわかりやすくかみ砕いて説明していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
の 説明 責任 ・ 連 携 支 援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5	2			13	1		1		専門用語をわかりやすくかみ砕いて説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	5		相談を受けたらアドバイスできるようにしている。またその後様子も聞くようにしている)	3	2	4	6		家族と話し合いの場を持てる空間を提供できるよう今後検討し、信頼関係を深めていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 ・ 連 携 支 援 ( 続 き )	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	1			7	4	2	2		コミュニケーションやリスク等の説明をし将来への見通しができるように説明していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	5	1			6	1	5	3		職員間で共通の認識を持ち、的確な助言等ができるように努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1		5	保護者会はまだできていない。保護者には将来を不安に感じている方もいるため今後必要と思う。	3		6	7		話し合いができる場所の提供や機会を今後提供できるよう検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7				5	2		8		苦情があった場合には報告、連絡、相談を、徹底させ適切な対応をしていきます。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7				9	3		3		連絡帳を活用しています。必要な場合には電話等で連絡しています。
9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	7				フェイスブックで発信している。	10	1	2	2		フェイスブックを活用しています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標				
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見			
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	7						8	1	6	面談等で安心できるよう説明をしていきます。		
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7						9		1	5	事業所用のマニュアルを保護者向けに作成し配布するよう検討していきます。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7						7			8	子どもから聞いています。	
非常時等の 対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7										研修会は行えていますので継続していきます。	
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	2	5		まだ対応していない児童が来所していないため、利用があれば適切に対応していく。							対応児童がいないため利用の際には適宜対応をしていきます。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	2										対応児童がいないため利用の際には適宜対応をしていきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	2										職員全員の周知を図るために全員の確認印を押しようにしていきます。また口頭、伝達事項で徹底していきます。